

## Press Release

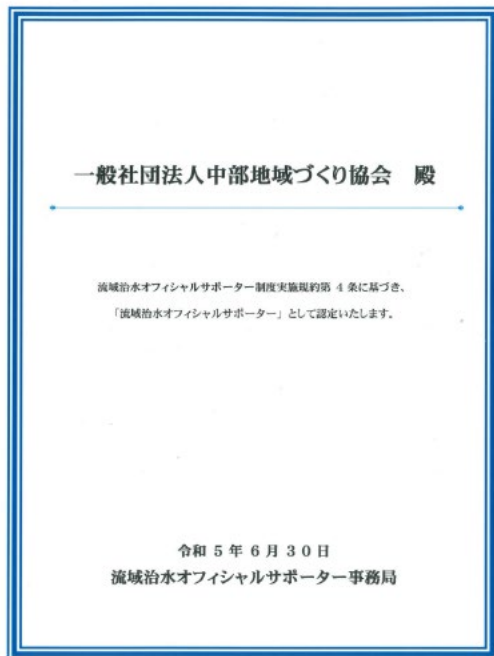
報道関係者各位

令和5年7月12日

一般社団法人 中部地域づくり協会

### ～「流域治水オフィシャルサポーター」に認定されました～

一般社団法人 中部地域づくり協会は、6月30日、流域治水オフィシャルサポーター事務局より「流域治水オフィシャルサポーター」に認定されました。



国土交通省では、あらゆる関係者との連携の下、流域全体で治水対策に取り組む「流域治水」を促進するため、令和5年3月に「流域治水オフィシャルサポーター制度」を創設しています。

今般、初の認定企業・団体等として、62の企業・団体等が「流域治水オフィシャルサポーター」に認定され、当協会もその一つとして認定されました。

今後、多様な機関と連携し、流域治水の普及・啓発に積極的に取り組んでまいります。

なお、当協会の主な取り組みの概要は別紙の通りです。

(流域治水オフィシャルサポーター特設ページ)

<https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/supporter.html> (国土交通省 HP)

問合せ先 一般社団法人 中部地域づくり協会 地域づくり技術研究所

所長 犬飼 一博 TEL：052-871-9380

\*中部地域づくり協会は、国土の利用、整備、保全、災害防止などの事業を行い、国土の健全な発展に寄与することを目的とする一般社団法人です。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



【 学校で防災講座を実施 】

愛知・岐阜県内の小・中学校、高校で、VRによる浸水疑似体験や浸水疑似体験映像の視聴、マイ・タイムラインの作成などを通して、事前の備えや早期避難などについて学ぶ防災講座を実施します。



(防災講座の様子)

【 防災啓発冊子の配布 】

近年の豪雨災害を学ぶ防災啓発冊子「自然に学び、自然に備える」に、流域治水を紹介するページを設け、中部管内の行政機関・図書館・高校・大学及び防災イベントなどで配布します。



(防災啓発冊子の抜粋)

【 防災イベントなどで啓発 】

中部管内の防災イベント等に参加し、大雨における早期避難の大切さを伝えるため、VRによる浸水疑似体験等を実施します。



(防災イベントの様子)

【 事業所を洪水時の一時避難所に 】

9事業所（沼津市・浜松市・豊橋市・名古屋市・桑名市・津市・岐阜市・多治見市・高山市）において、地域の自治会と協定を締結し、洪水時等の一時避難所として位置づけています。